

促成トマト

-「CFハウス桃太郎」 を例に

植え付けから年間の管理~

年明けから収穫終了までの管理 (1月~7月中旬)

日照量は多く促成トマトの栽培に適

られるきっかけになりました。

元JAうつのみや営農指導員 勝次



地域概況

宇都宮市の地形はほぼ平坦で、標高は北部で約80m、 南部で50m程度。平均気温は13.8℃、年間降水量は 1,493.1mm、日照時間は1,911時間あります。特徴的な のは、冬季に晴天が多く日照時間が長いことです。 のことが、冬季間の野菜栽培を盛んにしています。そ の反面、気温は低く、 $1\sim 2$ 月は最低気温がマイナス $6\sim 10^\circ$ Cを記録することが何日もあります。

栃木県 宇都宮市・ 群馬県 茨城県 埼玉県 東京都

第1表 宇都宮市の気候(平年値)

| 要素 | 降水量(mm) | 気温(℃) | 日照時間(時間) | 雪(cm) |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 合計 | 平均 | 合計 | 降雪の深さ |
| | | | | 合計 |
| 統計期間 | 1981~2010 | 1981~2010 | 1981~2010 | 1981~2010 |
| 資料年数 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| 1月 | 33.9 | 2.5 | 204.8 | 10 |
| 2月 | 42.9 | 3.3 | 186.2 | 10 |
| 3月 | 88.4 | 6.8 | 187.9 | 5 |
| 4月 | 120.5 | 12.5 | 179.5 | 0 |
| 5月 | 146.6 | 17.2 | 166.9 | |
| 6月 | 174.7 | 20.6 | 112.1 | |
| 7月 | 205.8 | 24.2 | 114.1 | |
| 8月 | 209.8 | 25.6 | 138.9 | |
| 9月 | 220.4 | 21.9 | 112.2 | |
| 10月 | 146.5 | 16.1 | 145 | |
| 11月 | 68.1 | 10.1 | 164.5 | |
| 12月 | 35.5 | 4.9 | 199.1 | 3 |
| 年 | 1493.1 | 13.8 | 1911.3 | 28 |

出典:気象庁ホームページ

管理」 圃場管理を例に「年初から収穫までの 特集号)。 管理」を紹介しました(2019春種 を解説してみます。 比較的気温が低く、 その反面

場管理を例に、「育苗から年内の栽培 永岡さんがトマト栽培している宇都 後編でも同様に永岡さんの

雪では、永岡さんの1200坪の スも全壊いたしました。 には栽培を再開できましたが、 どによりその年に新築工事を行い、 余談ですが、2014年2月14日の大 ただ、山間地なので冬の降雪量が多 雪への対策も必要になってきます の対策など、 さまざま考えさせ 仲間の協力な 改めて ハウ 秋

ていると思います(第1表)。

栽培をしてこられた永岡照之さんの圃

前編では宇都宮市で50年以上トマト











を持たないト マトな へも積極的に訪花 活動し、トマト栽培 作業の省力化には欠 かせない存在だ。

> ているということを前提に読み進めて 具体的にまとめてみました。 永岡さんの栽培管理について以下に このような気候条件のもとで栽培し

看果~整枝まで

1 ホルモン処理

果の促進を図っています。 ルハナバチを導入し、労力の軽減と着 の対策とし、さらに10月下旬からはマ 着果、肥大の促進および空洞果の防止 レリン10≧を混用して処理し、果実の (10月) にトマトトーン100倍とジベ ホルモン処理は第1花房の開花時期

理による着果の促進と肥大を図る必要 があるのです。 バチの活動が弱まるため、ホルモン処 います。というのも厳寒期はマルハナ 12月中旬より再度ホルモン処理を行

用していきます。 3月上旬からは再度マルハナバチを利 ホルモン処理は2月下旬までとして、

2 温度管理

24~25℃の生育適温で、午後は20~11 らには草勢に応じたきめ細かな管理を として管理し、果実の肥大や品質、さ ごろまでは10℃、その後は9℃を基準 ℃を基準に管理します。夜の20~22時 理であり、永岡さんは日中の午前中は 温度管理は生育を左右する大切な管

潅水することが大切です。 めの大切なものです。遅れないように

進とその後の草勢のバランスを取るた

生しやすくなるので注意しなければな 潅水をすると、病気やすじ腐れ果が発 潅水します。この時期に一度に多量 させないように、少量で回数を多く、 ンスを見ながら晴天の日に地温低下を その後は、果実の肥大と生育のバラ

4 整枝法(Uターン誘引法)

から斜め誘引を行い、9段目当たりに 5段着果まで直に伸ばし6段目当たり るUターン誘引法です(次頁第1図)。 ら2本の側枝を伸ばし2本仕立てとす 永岡さんの整枝法は、子葉の直上か されています。

理することです。厳寒期になれば、 温度分布の均一化を図っています。 とに配置し、地温の確保とハウス内の 岡さんは暖房機の小ダクトをベッドご 温度管理で大切なことは外気温、 日長時間などの変化に応じて管 永 日

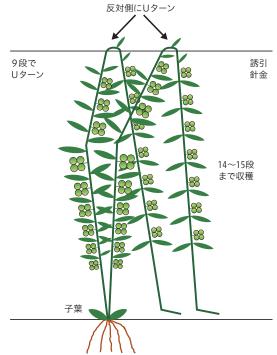
3 潅水管理

ず、3段花房の着果ごろから4段花房 の開花ごろ、再び始めます。 定植後3段開花まではほとんど潅水せ この時期の潅水は3段までの肥大促 定植時にある程度多量の潅水をし、

たら曲げて反対側に下げる方法で、 Uターン用の針金を張り、針金に届

地

第1図 Uターン誘引法



誘引方法は収量や品質に直結する問 題なので、十分理解して選択する必 要がある。永岡さんはUターン誘引 法で栽培している(第1図)。管理作 業は軽減されるが、栽培後半に通路 が込みやすく、収量に影響する。



↑永岡さんは宇都宮の仲間たちと検討会を開く。定 期的にそれぞれの圃場に集まり品種特性やそれに 合った栽培管理の方法を議論し共有している。



↑永岡さんの圃場では奥さんが芽かき作業を 担う。

病害虫の防除

5

面に届くまで14~15段まで伸ばし着果

う病、 ス内 害虫ではコナジラミ類、 薬剤散布による防除とともに、 この時期に発生する病害はトマト疫 灰色かび病、 1の除湿などによる環境の改善、 トマトサビダニなどがあります。 トマト黄化葉巻病などがあり、 肥培管理など耕種的防除を うどんこ病、 ハモグリバエ かいよ ハウ 摘

液、

すので十分理解して選択する必要があ

誘引方法の選択は収量にも影響しま

やすくなることです。

後半に葉が込みあうので、

通路が込み

理作業を軽減しますが、問題点は栽培

この誘引方法はわき芽かきなどの管

させます。

行う必要があります。

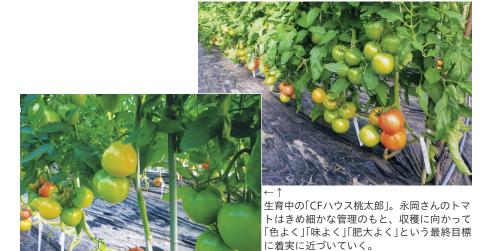
0倍液、 5000倍液を散布しています。 バエ類に「トリガード液剤」1000倍 うどんこ病です。薬剤では、 害虫は、ハモグリバエ類、灰色かび病、 永岡さんが防除に力を入れている病 灰色かび病に ト顆粒水和剤」 うどんこ病に「ガッテン乳剤 「バイエルジャスト 2 0 0 0 ハモグリ 300

収穫時期からの管理

節となります。 降雪もあり、 大切なものです。 収穫の始めは1月中旬で最も寒い季 この時期の管理はとても 宇都宮という土地柄、

①温度管理

時期です。日中晴れの日は25~26℃、 低温期であり温度管理が最も大切な



※文中で紹介している農薬は、タキイでは取り扱いのないものもございます。ご了承ください。 また、農薬をご使用の際は必ず登録の有無や使用方法をご確認ください(編集部)。





↑収穫始めの筆者(上)と永岡照之さん(下)。永岡さん は宇都宮市大網町で50年以上もトマトを栽培してこ られた。

のトマトは比較的これに近いものがで よく」「味よく」「肥大よく」です。

きたのではないかと思っています。

長い収穫期間であり、

その間、

気候

●永岡照之さんの年初から収穫までの管理

| 一人間派とでルットのから収穫までの自生 | | | |
|---|---|--|--|
| 栽培面積 | 40a | | |
| 品種 | CFハウス桃太郎 ガードナー(台木) | | |
| 苗の購入日 | 9月15日 | | |
| 土づくり | 潅水し塩類を除去、 その後ビニールで覆い太陽熱による土壌消毒 | | |
| 施肥(10a当たり) | 大豆かすともみ殼の堆肥3 t 、ロング肥料140kg | | |
| 定植 | 2018年10月13~14日(第1花房開花5~6日前) | | |
| 栽植間隔 | 50×120cm | | |
| 仕立方法 | 2本仕立て(Uターン誘引法) | | |
| ホルモン処理 | 10月中旬ホルモン処理。 10月下旬よりマルハナバチ導入。 12月中旬より再度ホルモン処理。 3月上旬から再度マルハナバチ利用。 | | |
| 温度管理 | 午前24~25℃。 午後20~11℃、夜間22時ごろまで10℃、以降9℃ | | |
| 潅水管理 | 晴天の日に地温を低下させないように、少量で回数を多く | | |
| 追肥 果実の肥大、成長点の強弱を見ながら、 10 a 当たりチッソ成分で 4 ~ 5 kg。一度に多量は禁物 | | | |
| 防除対策 | 薬剤による防除と耕種的防除を並行して | | |
| 雪害対策 | 暖房機を稼働し続けて雪がハウス上に積もらないように | | |

います。

栽培者の誰もが目標とするのは

⑤その他の管理

らないようにしています。

としてハウス内のカーテンを半分程度 に毎年のように降雪があります。

対策

暖房機を稼働し続けて雪が積も

ど日常管理をきめ細かに行い、 んは収穫を楽しみに栽培に取り組んで 病害虫の防除、 誘引、 摘葉、 永岡さ 摘芯な

4雪害対策 宇都宮市は1月下旬~2月中旬ごろ

生が見られるので注意が必要です。 肥を行わず10a当たりチッソ成分で4 量の追肥を施用するとすじ腐れ果の発 強弱などを見ながら、 ~ 5㎏程度を目安にします。 追肥は生育や果実の肥大、 一度に多量の追 成長点の 一度に多

② 潅 水 夜温は10℃を保つようにします。 潅水は地温が低下しないように注意 度に多量の潅水は行わず、

で生育に応じた潅水を行います。

促成トマト栽培のキモ ―5つのポイント

色

今作

- はい苗を作ること
- 2適切な圃場管理 (土づくり、施肥、温度、潅水)
- 3病害虫の防除

果を出すには粘り強く根気よく取り組

病害虫の発生などもあり、

む必要があります。

- 4 適切な整枝法の選択
- り収穫期の温度管理・雪害対策

よいトマトとは「色よく、味よく、肥大よし」です。

よいトマトを作るためには、まずよい苗を作ること。 作」といわれるようによい床土を使い、日光に十分当てて苗作 りをすることが大切です。

よい苗は定植後の根の張りがよく順調な生育となります。

定植後は活力ある根を十分に張らせること。根張りをよくす るために、夏の太陽熱による土壌消毒、良質な堆肥の施用、土 壌診断による施肥など適切な管理を行い、そのうえ生育中には 温度、潅水、追肥など適切な管理を行うことが大切です。

病害虫の防除は早期発見、早期防除に努めることが重要です。